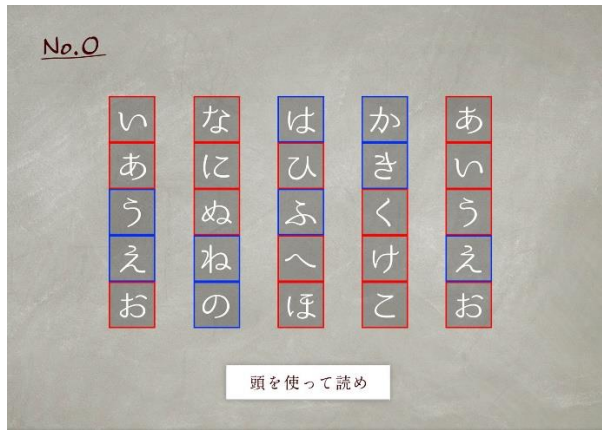


## 秘文字 ～暗号の招待状～ 解答編

### ◆暗号0（お試し）の解き方



「頭を使って読む」の手がかりを使います。

縦書きで書かれた文字、頭文字を右側から読みます。

⇒ 「あかはない」

赤い枠を除いて文字を改めて読むことで答えがわかります。

**ANS**

⇒ 「えかきはふねのうえ」（絵描きは船の上）

# 秘文字

## ◆暗号1の解き方



四角い枠の中に「数字 - ・」の組み合わせが描かれています。

※1つのマスが1つの文字を示す、換字式暗号。

右側には手がかり「There is a key in the board」を使います。

これだけ読むと「鍵はボードの中」の意味ですが、解読に必要なものは「キーボード」であるヒントになっています。

実際にPCで使用するキーボードを見ると

数字のキーの下には3つの文字が斜めに並んでいます。

四角いマスの暗号は、キーボードの1列を示していました。

その中で「・」の位置が読むべき場所となっています。

例えば1の数字の下には Q A Zが並びますので、「1 - ・ -」の暗号はAとして読むことができます。

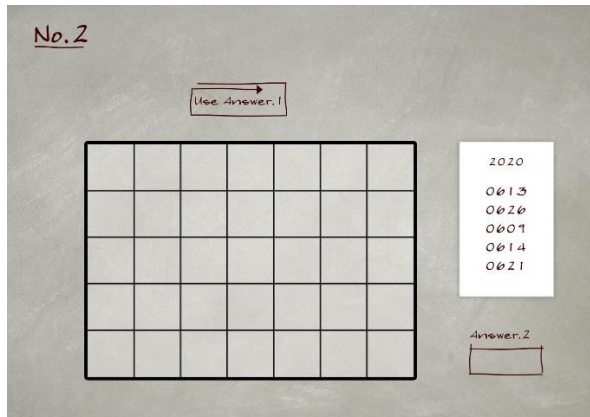
これをすべてに当てはめて解読をすると…

(ローマ字が答えですがここではひらがなで記載しています。)

## ANS

⇒われわれはどこからきたのか われわれはなにものか われわれはどこにいくのか

## ◆暗号2の解き方



「Use Answer.1」とあるので、先ほどの答えを使用します。

このマスは35マスでローマ字のままでは文字数が合いません。ひらがなに直して読むとマスと同様35文字になります。

ただし、そのまま入れるのではなく「Use Answer.1」の周りにある矢印の通りに時計回りに渦を描くように記入する必要がありました。

※転置式暗号（らせん式）の応用となっています。

記入した後に、読むべき文字の場所は右側の手がかりに隠されています。

そこには「2020」と「06※※」の数字が書かれており、これが日付であることに気づければ、2020年6月のカレンダーを見て、その日付の場所に書かれた文字を読むことで解読ができるようになります。

0613=か 0626=れ 0609=の 0614=な 0621=は

|   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
| わ | れ | わ | れ | は | ど | こ |
| に | も | の | か | わ | れ | か |
| な | い | く | の | か | わ | ら |
| は | に | こ | ど | は | れ | き |
| れ | わ | れ | わ | か | の | た |

**ANS**

⇒かれのなは (彼の名は)

# 秘文字

## ◆入力

彼の名は？という手がかりがわかりました。

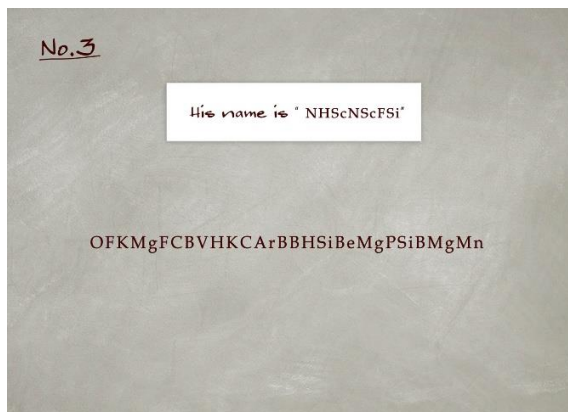
この質問に対して、アルファベット（小文字）7つで解答する入力フォームが用意されています。

ここでは、暗号 1 の答え「われわれはどこからきたのか われわれはなにものか われわれはどこに行くのか」の作品を生み出した画家・ゴーギャンを答えます。

## ANS

⇒gauguin

## ◆暗号 3 の解き方



正しい入力を行うと最後の暗号が現れます。

最後の解読は、法則さえ見つけることができれば簡単に読むことができます。

His name is = NHScNScFSi つまり = GAUGUIN

であることがわかります。

GAUGUIN の名で 2 回使用されている「G」と「U」に注目します。

暗号文「NHScNScFSi」ではそれに対応している場所は、それぞれ「N」と「Sc」となります。文字に対応した換字で間違いなさそうですが、一部、1文字に対して小文字を含めた2文字が含まれています。これに注目して「Sc」が何かを考えると、HがAを示していることから、これは元素の周期表であると予想できます。

## 秘文字

①下に書かれた暗号文=元素記号として見る

O F K Mg F C B V H K C Ar B B H Si Be Mg P Si B Mg  
Mn

②周期表より数字に変換する

8 9 19 12 9 6 5 23 1 19 6 18 5 5 1 14 4 12 15 14 5 12 25

③その数字に対応したアルファベットに変換する

H I S L I F E W A S F R E E A N D L O N E L Y

**ANS**

**⇒HIS LIFE WAS FREE AND LONELY**

お試し問題の答え「絵描きは船の上」もゴーギャンの生涯に関係した答えとなっていました。

ゴーギャンはパリを追放されたり、いろいろな場所に移り住んでいました。

また目的地に着く前に勝手に下船し、その場所に住んだこともあります。

「我々はどこから来たのか？我々は何者か？我々はどこに行くのか？」を描き、その数年後に死んでしまったゴーギャン。

複数の妻や子供にも恵まれてはいましたが、子供と住む時間は少なく、また死ぬ間際にも、それまで一緒に生活していた若い妻は自分のところには戻ってきませんでした。

最後の答えはそういった画家の生涯を表した答えとなっていました。